

NEWS 01

防災に関する2つの計画 への意見を募集

原子力防災と避難場所の整備に関する計画です

意見の提出方法

12/27(木)から市役所6階危機管理対策課、区役所、まちづくりセンターなどで配布する、それぞれの計画案をご覧の上、1/25(金)まで。

計画の詳しい内容は、
ホームページでもご覧になれます

札幌市 災害に備える

検索

3062

【詳細】危機管理対策課 ☎(211)

いずれの計画も、皆さんのご意見を踏まえて3月に策定する予定です。ぜひご意見をお寄せください。

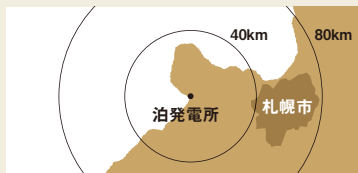
市では、防災の総合計画である「地域防災計画」に追加する「原子力災害対策編」と、今回新たに策定する「避難場所基本計画」の素案に対する、皆さんのご意見を募集します。この2つの計画は、東日本大震災から教訓を得て、新たに策定するもの。万が一、泊発電所での事故や、札幌で大災害が起こった場合でも、あらかじめこれらの計画に沿って適切な備えをしていくことで、市民の皆さんの安全を守ります。

意見募集 1

地域防災計画(原子力災害対策編)

原子力災害が起こった場合を想定し、必要な体制と対策を定める計画

計画のポイント



札幌と泊発電所の距離は約40～80kmで、福島市と福島第一原子力発電所と同程度の距離。泊発電所で事故が発生した場合、市内にも放射性物質が飛散する可能性があります。

原子力災害の特殊性

放射線による被ばくや汚染の程度を、市民が的確に判断し行動することが難しい

正しい知識と情報を市民に伝える

- 市民への的確な情報伝達体制の確立
- 原子力防災に関する知識の普及・啓発

万一の事故に備えた体制づくり

- 防災関係機関相互の協力体制の確立
- 泊発電所周辺からの避難者の受け入れ・支援に関する準備

意見募集 2

避難場所基本計画

災害時に被災者を受け入れる避難場所において、防寒対策を重視して備蓄物資の増強や施設整備を進める計画

計画のポイント

避難場所の分類の見直し

被災し自宅で生活できない方を受け入れる収容避難場所を、**基幹避難所**と**地域避難所**に区分。全ての基幹避難所に備蓄物資を配置するほか環境の整備を進めます。



応急救援備蓄物資の増強

- 最大想定避難者(約11万人)分の寝袋・毛布
- 最大食料需要者の2食分(約27万食)の食料
- 移動式灯油ストーブや発電機、投光機、ラジオ付き手回しライト など

その他

- 市立小中学校の1階を新たに避難場所に指定し、災害時要援護者へ優先的に提供
- 市立小中学校の受水槽に給水栓を設置 など